

特定非営利活動法人

ユーアンドアイ

放課後等デイサービス

ぱれっと

龍ヶ崎市、特定非営利活動法人ユーアンドアイの放課後等デイサービス「ぱれっと」にお邪魔して、社会福祉士きよよし しんやの木島新也さんにお話を伺いました。

【アットホームな温かい雰囲気】

「放課後等デイサービスは平成24年に児童福祉法に位置づけられた新たな支援なので、設立後に体制が変わりました。それまでは未就学児も受け入れていたのが、今は小学生から高校生までの子供たちが通ってきています。ぱれっとでは、体操や工作やゲーム、学習サポートの他、お皿洗いや掃除など、生活に密着した自立サポートも行います」設立から16年目、市内では2番目に古い放課後等デイサービスぱれっとは、瓦葺の切り妻屋根の平屋建て。和の趣の建物は、自宅に併設された元飲食店で、まるでおばあちゃんの家に来たかのようなホッとさせる雰囲気。施設内を案内してもらったら、子供たちは、自宅で寛ぐかのようにゴロゴロしたり、ゲームで遊んだりのびのびと自由時間を過ごしていて、ほのぼのとした空気が流れていた。洗面所やお風呂、台所も普通にあるので、自立する上で必要な生活スキルの向上を図るのには最適な場所ではないだろうか。



【おせっかいな施設かもしれない】

主な活動内容は、集団活動と個別活動が中心だが、作業療法士によるマンツーマンの支援や、宿泊体験やアート活動など多岐にわたる。国が定めたガイドラインはあるが、ぱれっとでは、ひとりひとりにじっくりと向き合った細やかな支援を行う。「親御さんとの面談や普段の活動などから、ひとりひとりの特性をじっくりと探り理解した上で、各々に合ったプログラムを作り上げます。面談では、何時間も話し込むこともありますよ。また、その子の今よりも、先のことを見据えて他の施設を紹介することもあります。施設を卒業してからの生活の方が長いですし大切ですから。このあたりでは一

番おせっかいな施設かもしれません（笑）」と木島さんは言う。なんて柔軟なのだろう！

他にもぱれっとならではの特徴は、保護者からの要望で実現したOBOG会の開催ではないだろうか。今年はコロナの影響でできなかったが、毎年施設を卒業したOBOGの方々を招いて外出したり、今年の1月には15周年のパーティを開き沢山の方が集まったそうだ。「OBOGの親御さんから相談を受けることもあります。本格的な支援はできませんが、相談には応じるようにしています」柔軟でおせっかいな支援は、不安を抱える親御さんの救いになるし、子供たちが自立までに過ごす、居心地のいい居場所にもなる。

～歳をとっても、障害があっても、住み慣れた地域の中でその人らしく、心豊かに暮らしていける、そんな新しい“ふれあい社会”を目指しています～ 母体のユーアンドアイの想いが、お話と共にじわじわと伝わってきた。



木島さんが個人的に出会った自由アートの先生を招いて、アート活動なども行う。部屋中に養生シートを貼り、好きなように自由に描く。

「体がキャンパスになりますよ」なんだか身体も心も開放されそう。想像しただけで楽しそう！様々な色を受け止めるぱれっとから、自由なキャンパスへ。そんな言葉が思い浮かんだ。

特定非営利活動法人 ユーアンドアイ / 放課後等デイサービス ぱれっと

所在地：茨城県龍ヶ崎市奈戸岡2番195

電話：0297-62-2667 FAX：0297-62-2698

サービス提供日及び時間：月曜日～金曜日 放課後14時30分～17時30分

春休み等学校休業日：10時～17時

※時間外利用にも対応します

※祝日・8月13日～15日・12月29日～1月3日はお休み

